STACE 1983

中央大学英語学会OB杯

スピーチコンテスト優勝者は

外国人相手にアポなしガイド、英語劇などの活動で高い評価を得ている中央大学英語学会(ESS)の基盤となるのがOB杯スピーチコンテストだ。今回の優勝者、村木圭さん(法1)は中学英語の補習組だった。 やればできる一その舞台裏をのぞいた。

(参加者19人、決勝進出者10人)

年に1度のビッグイベント、OB杯第 12回英語弁論大会は10月18日、中 大多摩キャンパスで行われた。村木 さんは規定の5分間スピーチのテー マに都議会を騒がせた女性への痛 烈やじを取り上げた。OB杯は英語 だが、誌面は日本語で展開する。



優勝者・村木さんを挟んで、左が堀田純三氏(同会OB、スピーチ指導)、 右はテレンス・イヤリー先生(スピーチ審査員)=中大英語学会提供

スピーチ内容

皆さんこんにちは。本日は、日本の性 差別について、話したいと思います。

2014年6月25日、そのニュースに 大変ショックを受けました。東京都議

> 会で、みんなの党の塩村文 夏氏が都の晩婚化と高齢 出産問題について質問しま した。質問の最中に、他党 男性議員から「早く結婚した ほうがいいんじゃないか」 「自分が産んでから」といっ たやじを浴びせられました。

> 安倍首相が女性に優し い社会を唱えているにも関



優勝トロフィーを前に笑顔がはじけた村木さん

わらず、このような発言が公の場所 であったのは恥ずかしいことです。

男性も女性も外で働いています。 家事はいまだに女性の仕事となっていて、企業の管理職はほとんどが男性です。去年の女性政治家の割合はわずか7.9%でした。



村木さんは、このあと改善を披露 した。育児休暇を男性に強制的にと らせる。企業や政府機関で女性の 雇用枠を設ける。これによって女性 の雇用が増え、女性の意見が反映さ れやすくなる。女性と男性は同じ人

スピーチの勧め



OB杯出場者は英語学会OBに一人ひとり、英文原稿を添削され、発音を指導される。5分のスピーチ原稿を考え、暗記し、大勢の前で話すということは容易ではない。だからこそ、スピーチから得られるものは測り知れない。

原稿を作成するときは、自分自身と向き合う。 「何に興味があるのか? |

詳しくは「中央大学英語学会



英語学会スピーチ局チーフ・総合政策学部2年 深田琴水

疑問を追求すると自分が見えてくる。鍛錬の末、突き詰めた自分の思いを、堂々と話すことができるようになる。

OB杯の他にも、気軽にスピーチに挑戦できるインナースピーチ発表会、スピーチの基礎を学べる週2回のレッスン、長期休み中の講習会。他大学とのジョイント大会や練習会も盛んだ。

http://www.chuoess.com/

中学英語の補習組だった

間であり、"性別"によって差別されることは、決してあってはならない、と。(右記英文参照)

優勝するまでに

村木さんは、通常練習のほか自転車で買い物に行くとき、湯船につかっているとき、アルバ小中も支障のないときにそっと練習した。「ひまがあればいつでもスピーチのフレーズを口ずさむようにしていました」

英語との出会いはショックから始まった。中学1年、最初のテストの結果、補習組に回された。「悔しくて他科目より、重きを置いて勉強するようになりました」「いつしか英語が好きになって、大学では実践的に英語を使ってみたいと思い、ESSに入部しました」

入学後、新入生対象のスピーチコンテストでは実力を発揮できなかった。それから、またリベンジが始まり、大舞台で栄冠をつかんだ。あきらめない気持ちが、彼女のエンジンである。

For realizing equality

Kei Muraki

Good afternoon ladies and gentleman.

Do you think our society is sexually equal?

Indeed, our women can go to school, work and do things just like men, but

sexual discrimination is still there in Japan.

Today I'd like to talk about sexual discrimination in Japan.

On June 25, 2014, I was really shocked at a piece of news.

At the Tokyo Metropolitan Assembly, Miss Ayaka Shiomura of Your Party rose to question the issue of increasingly delayed marriage and childbirth in Tokyo.

As she was doing so, other party men said sexually discriminating comments like "You should hurry and get married yourself!" and "Hey, why don't you give birth to a baby yourself!"

Shocked by the comments, she continued to question managing her wry smile.

After the session, she proved these comments were said by one of the Liberal Democratic Party members. It is a shame that these comments were said in the official assembly and by a Liberal Democratic Party member despite that Prime Minister Shinzo Abe vowed to make corporate Japan more women-friendly. This news symbolizes Japan has sexual discrimination.

In the past, it was said "women are homemakers and men are to work outside".

It was natural that women should do housework and child-raising

Women have been encouraged to participate in society and do the same work as men since The Basic Law on Gender Equality was constituted.

Many women are active in business, political place and global society.

Sexual discrimination, however, remains yet.

For example, in the law, age of marriage is different between male and female.

Although both men and women work outside, housework is still a job for women.

Company executives are mostly men yet.

Last year female politician in Japan was only 7.9%.

In addition they are discriminated as you can notice.

This is peculiar to Japan among developed countries. What should we do then to solve the problem of sexual discrimination?

At first, we should transform current Japanese system into women-friendly system.

For example, if a baby is born, both men and women are forced to take child-care leave and can easily return to work afterwards.

Then men become more cooperative to child care.

Another idea is to set a quota on the number of women in business and governmental organizations.

Female job opportunities will then increase and female opinions will be reflected.

Secondly, we should abandon the classic way of thinking that women have to keep the house.

All of us should recognize women and men are equal.

In conclusion, women and men are same human beings and it is natural that we should be given the same rights.

We must not discriminate because of sex.

In 2020, the Olympic Games are going to be held in Tokyo.

By then, women and men need to make this country more comfortable, cooperating with each other.

Thank you for your kind attention.

努力の先にある成長 英語学会の活動内容

英語学会会長・法学部2年 阿部莱央



大きく分けてレッスン(学生主体の授業)、ディスカッション、ガイド、スピーチ、ドラマ(英語で演じる劇やミュージカル)、留学生交流である。

よく「英語はツールだ」という言葉を耳にするが、まさにその通りで、英語は自分の感情を相手に伝える手段の一つ。今、世界で英語を第1言語、あるいは第2言語として話す人は、世界人口の約49%にも及ぶという。 英語を話せることは、日本語だけで作り上げてきた自らの環境を何十倍にも広げられる。

これが英語を話したいと思ったモチベーションである。大変なことや悔しい思いをすることもある。ネイティブを相手に意思疎通がうまくとれなかったことがある。スピーチ途中にストップして、頭が真っ白になったこともある。失敗したり挫折したりしても、努力の先では必ず自分の成長が待っていた。

新たな世界とつながるチャンスが英語学会には転がっている。まだまだ成長中の、私たちが作る英語学会に、これからも注目していただきたい。